

平成30年度助成調査研究報告(要旨)目次

《平成30年度助成》

1	ゲノム編集と保険法の課題	肥塚肇雄	1
2	働き方の多様化に対応し得る私保険と社会保険の協働 －社会保険制度のゆらぎと働き方の多様化に基づく考察－	(代)倉田 賀世	8
3	ファイナンシャル・ジェロントロジーと金融リテラシー	川崎 成一	15
4	IFRS17「保険契約」のエフェクト分析 －我が国への適用を想定して－	上野 雄史	24
5	保険契約における公平性の検討 －「遺伝子差別」の実態と課題－	宮地 朋果	30
6	オルタナティブ投資としての証券化商品 －どのような証券化商品が望ましいのか－	森谷智子	36
7	少子高齢化社会における年金制度の維持可能性に関する 理論研究	上口 晃	41
8	高階のリスク選好および利他主義が保険選択に与える影響 －実験による検証－	和田 良子	46
9	経済成長と進学率の上昇 －学資保険による日本の経験と新興工業国へのモデル化	伊藤 真利子	60

注1 氏名の前の(代)は、共同研究の代表者を示します。

注2 共同研究の場合の「プロフィール」は、研究代表者のものです。

注3 研究者の所属・役職及び研究テーマは、報告書提出時のものです。

注4 本報告(要旨)は、調査研究助成申請順に掲載しています。

注5 本報告(要旨)及び本報告(本文)は、当財団のホームページに掲載しています。